

高雄日本人学校の風

校長 高口和治

明日、運動会で中華民国国歌を歌います。子どもたちは練習をしています。そこで、少し歌詞について書きたいと思います。

歌は『三民主義・・・』から始まります。今、当校の中学生が使っている社会科歴史教科書に、『・・・清をたおして民族の独立と近代国家の建設をめざす運動が始まりました。その中心となったのが、三民主義を唱えた孫文です。1911年・・・辛亥革命といえます。翌年には、孫文を臨時大總統とし、南京を首都とするアジア最初の共和国である中華民国が建国されました。』（さらに教科書では、三民主義を解説しています）民族の独立（民族）、政治的民主化（民権）、民衆生活の安定（民生）の3つからなる革命の指導理論。

10月17日(月)

1時間目、開会式前と式を通して練習しました。行進が上手になりました。膝が腰に近いくところまで上がっている子どもたちもずいぶんいました。行動がきびきびしている感じが高まっています。

この日は、昼休みに応援練習を始めました。完全にはやり方は、固まっていなくて、その場で、「ウエーブはこうするんだ」とか「座りっぱなしじゃウエーブならないよ」とかの話がありました。1人何通りもこなすので仕方がないのかとも思います。それぞれの組の応援の笛にしまりがあって素晴らしい。

10月18日(火)

朝、6時台から音響の準備など先生方が忙しくしていました。聞いたら、配線がやたらめんどろしいのです。（詳しい先生はなんてことないとのことですが、帰国した先生が配線の写真を残しておいてくれました。結果的にOKです。）

10月19日(水)

1時間目、2時間目に予行練習が行われました。行進がみんな合うようになってきました。前の学年とくつつく率が少なくなってきました。行進として大変かっこよくなりました。

先日、バスが出て、小学部の応援団が「エイ、ヤーーッt」と練習をしていました。そこに、中学生がやってきてというより、小学生が中学生に声をかけ、どうすればいいの？って感じ（を受けました）でいました。日本人学校ならではの風景で、中学生も親切に教えていました。

月曜日にウエーブになっていなかったウエーブもしっかり波になっていました。

はじめて、3, 4年生騎馬戦をみました。戦う前に騎馬が倒れたり、馬の上にちゃんと乗っていない状態で相手とやろうとして、高さで負けたりと・・・あと2日間でどれくらい戦えるか楽しみです。

10月20日 (木)

3時間目にグラウンドに行ってみました。小1・2年生が『どんどこ あばれ獅子2011』の練習をしていました。元気よく楽しそうに踊っていました。1人1人の踊りあり、集団で波のように変化するところあり、と、楽しみです。校長先生からとよばれましたので「すごいかっこいいよ。あと、がちがちの人と大きな動きをしていた人がいました。顔がちがちの人とニコニコしていた人がいました。どっちがいいかな?」ということでもっとだけ話をしました。

5時間目、5, 6年生が組体操をしていました。ピシツときまっている子ども、ちょっとふらふらしている子ども。最後の種目三段の『高雄の塔』は、決まってくれるといいな、と思ってみていたのですが、まだ、ふらふらです。明日に期待です。どきどきして見そうです。

日本の運動会と違う？

高雄日本人学校の運動会は行進から始まります。日本では、集団行動を大事にして行進を練習する学校とだんだんしなくなっている学校があります。私たちは、集団行動も大事しています。3. 11地震から日本人の在り方を見直したり、反省したりと様々やっています。高雄日本人学校の運動会は、教員の間ではしっかりさせるところはしっかりさせようと、動いています。子どもたちもよく応えてくれています。代表としての役割がある子どもだけでなく、集団の中の1人であっても役割があるということを学んでいます。

私が中学校の経験が多いために、生徒が自分でやっていて、先生は計画段階でのアドバイス、実際練習しているときに「ここがまだできていない」などのアドバイスが中心というのが当たり前でした。中学生だけですと、計画から実際まで2ヶ月くらいかけて、準備していきます。行進練習も自分たちでどこが悪いかの指摘のしあいもしていきます。それは、うまく先輩から後輩に伝わっているようです。残念ながら、放課後がない、日本人学校ではどこも、時間不足から、その点は解決していないと思います（言い切れませんが、別の日本人学校の先生と話をしても中学校の先生とはそんな話が出てきます）

感心させられたのは、日本で2時間も練習をすると、何人かが熱中症（頭痛程度）らしい訴えをします。また、実際に本番では救急車で運ばれていく子どもも出ることもあります。そんなことがないのが大変うれしい。当校の子ども達は、体力的に日本と比較すると、持久力が劣っているという報告がありました。日本の多くの子ども達は、放課後、群れて遊びながら帰るなど、生活の中で、何か学んでいます。そんな中で「自然」に鍛えられています。

時間が不足するなか、一所懸命練習しました。明日、最初から、最後までよろしく願います。

